



家藤 正人（いえふじ まさと）俳句集団「いつき組」昭和六十一年愛媛県生れ。第三回北斗賞佳作。松山市公式俳句投稿サイト「俳句ポスト365」初心者投句欄選者。南海放送ラジオ「夏井いつきの一句一遊」アシスタント。「令和相聞歌」「南アジアオンライン俳句コンテスト」選者。

春野の神性あまてらすあまてらす



井上 康明（いのうえ やすあき）「郭公」^{かろう}主宰 NHK学園俳句倶楽部講師昭和二十七年山梨県生れ。飯田龍太に師事。平成五年「白露」（廣瀬直人主宰）創刊、同人。平成二十五年「郭公」創刊、主宰。毎日俳壇選者。山梨日日新聞俳句欄選者。句集『四方』『峡谷』。

春霜や束ねて寝かす桃の枝



宮坂 静生（みやさか しずお）「岳」^存主宰

昭和十二年長野県生れ。富安風生・藤田湘子に師事。昭和五十三年「岳」創刊、主宰。現代俳句協会特別顧問。第四十五回現代俳句協会賞受賞。著書『俳句からだ感覚』（第一回山本健吉文学賞）『語りかける季語ゆるやかな日本』（第五十八回読売文学賞受賞）『季語体系の背景―地貌季語探訪』、句集『雛土蔵』（第十一回俳句四季大賞）『噴井』『草魂』など。

むささびや歳月塔のかたちなす



和田 華凜（わだ かりん）「諷詠」^{ふうえい}主宰

「諷詠」は曾祖父の俳人、後藤夜半が創始し、長男の後藤比奈夫が継承して同族四代が主宰を務める伝統俳句結社。平成十八年「諷詠」に入会。平成二十六年、句集『初日記』を上梓。北溟社与謝蕪村奨励賞を受賞。三代目主宰、父立夫の急逝により「諷詠」第四代主宰を継承。新たな諷詠の作句信条として「深観新詠」を提唱。令和四年三月第二句集『月華』を上梓。第十一回星野立子賞を受賞。

花衣しめりて重く掛けにけり

全作品の名前を伏せて、全選者にそれぞれ特選・秀作・佳作を選んでいただきました